

## 国産酒類の輸出支援

海外で和食に対する評価が高まるにつれて和食に合う日本酒や国産ワインの輸出が増加している。

輸入国では、分析書・証明書を要求する場合があります。酒類総合研究所は、台湾(全酒類、2005年から)及びEU(ワイン、2007年から)から分析機関として認定され、これらの発行を行っている。

また、日本固有のブドウ品種である「甲州」については、品種名をラベルに表示できるようにするため、国際機関であるOIVに登録申請し、今年8月に「国際ブドウ品種及び同義語リスト」に掲載をみた。

その他にも、日本酒ラベルの用語事典の英語・中国語・韓国語版を作成・配付することなどを通じて国産酒類の輸出を支援している。

### 【用語説明】

#### ○ブドウ品種登録業務の概要

EU外で生産されたワインのラベルにブドウ品種を表示する場合には、  
①ブドウ品種の表示に関する生産国の規則(代表的な生産者団体が発した規則を含む)に従っていること ②OIV等の国際機関で公式に分類・登録されたブドウ品種であることが必要とされている。

当所は、国税庁からの依頼により山梨県と協力して作業を進め、今年8月にOIVのリストに掲載をみた。今後「甲州」以外のブドウ品種についても、酒造組合等からの要請に応じてワイン用ブドウ品種のOIVへの登録業務を行う。

# 国産酒類の輸出支援

## 酒類の輸出に必要な分析書・証明書の発行

当所は、台湾(全酒類、2005年から)及びEU(ワイン、2007年から)から輸出国における分析機関として認定され、分析書・証明書の発行を行っています。

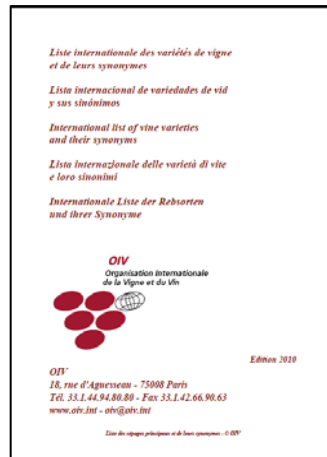
平成21年度の発行実績

台湾等向け	72社	155点
EU向け	2社	3点

## 国際機関(OIV)へのブドウ品種登録

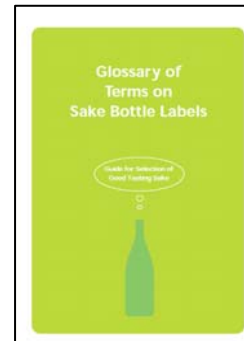
品種名をラベルに表示できるようにするため、「甲州」をOIVの「国際ブドウ品種及び同義語リスト」に登録申請しました。

2010年版リスト  
平成22年8月23日掲載



## 日本酒ラベルの用語事典の作成・配付

在外公館や海外見本市等の輸出促進イベントに利用されています。



英語版 18000部



中国語版  
・繁体字 8100部  
・簡体字 5000部



韓国語版 2000部